

平成 23 年度 第 2 回 総務企画委員会 議事概要

H23.5.20 作成

H23.6.03 修正

日 時：平成 23 年 5 月 17 日(火) 18:00～19:30

場 所：建築士会 会議室

出席者：(副 委 員 長) 長田 喜樹

(委 員) 石井 明 山根 三郎 山成 芳直 渡邊 一郎 平山 征宏

(担当常任理事) 村島 正章

(事 務 局) 佐川事務局長 岡部前事務局長 田中職員

欠席者：(委 員 長) 金子 修司

(委 員) 芝 京子 菊嶋 秀生 長谷川 行彦 二宮 智美

(オブザーバー) 藤田 武(会長)

議 事

1 平成 23 年度第 1 回総務企画委員会の議事録案の確認

概要

○前回委員会議事録案を異議なく承認された(前回同様、メーリングリストで事前送付済み)。

○質疑応答

・特になし。

2 総会に関することについて

○5 月 17 日に開催された第 333 回役員会の資料を基に、事務局長及び担当職員より変更、追加となった箇所について報告。

(1)平成 22 年度事業報告

・P19 に総会、役員会等について記載した。

・支部事業報告を追加した(P25～31)

(2)平成 22 年度収入・支出決算報告

・一般会計の青年活動費が 5,000 円増えている関係で、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録がそれぞれの額が変更となっている。

(3)平成 22 年度決算監査報告

・変更箇所なし

(4)平成 23 年度事業計画(案)

・各委員会の事業計画を追加した。

(5)平成 23 年度予算(案)

・繰入金の支部事業協力費について、前年度に申請したが支給が年度をまたいだ支部が次年度の収入に計上している関係で、収入の額の方が多くなっている。

今後調整が必要な事項である。

・地域貢献活動基金特別会計は、全くの別組織であり本会の会計には含まれないため削除した。地域貢献活動委員会の費用は一般会計に計上したため、雑収入の欄をその分増額した。

(6)役員選出

- ・会長は、総会の休憩中に開催される理事会において推薦されるため、会長候補者という記載を削除した。(P68)(定款第12条第2項)

(7)顧問承認

- ・変更なし

(8)来賓祝辞

- ・変更なし

○会長等の報酬に関する規程について、担当職員より報告。

- ・5月10日に開催された、正副会長常任理事会にて、今後は副会長の業務を明確にするにあたり副会長にも外部の会議に出席いただくこととなった。その際、交通費実費だけでなく若干の日当を支給した方がよいとの意見があり、本日(5月17日)の役員会にお諮りし承認を得た。

○支部事業報告について担当職員より報告。

- ・横浜支部のみ総会の開催が6月なので間に合わない。事業概要には全支部分を記載することとしたい。

○長期会費滞納者について事務局長より報告。

〈質疑応答〉

問:確認であるが、会長等の報酬に関する規程については、報告ということでよろしいか。この場で意見を出しても変更等はきかないか。

答:報告事項である。

問:長期会費滞納者についても報告ということでよろしいか。

答:報告事項である。

問:役員会で、長期会費滞納者に関し、出席者から出た質問はどのような内容であり、どのような回答をしたか確認したい。

答:連絡不能者を3年間もほっておいたのかという質問であり、2年間は連絡が取れたが、その後連絡不能となったと回答した。

問:長期会費滞納者処分は毎年やっているか。

答:毎年やっている。

問:前回の委員会資料では、一般会計、支部会計、二級・木造特別会計、地域貢献活動特別会計の4本であったが、今回、地域貢献活動特別会計を削除して3本立てとなったのは、地域貢献活動委員会のメンバーから出た意見によるものか。

【担当常任理事より補足】

問:昨年度と比較して、金額の増減はどうか。

答:例年と異なり、収入に耐震耐力度調査収入が含まれていないため、減少している。

3 その他

○なし

報告事項

1 小田原地方支部役員会及び小田原地方支部総会について

○担当職員より、当日の様子が報告された。

- ・総会では質疑が出なかったが、役員会ではいくつか質疑をいただいた。特に気にされていたのが、繰越金を支部独自で使用できるかどうかという点である。繰越金については、財産目録において、支部ごとに分かるように記載し、使用することはできると回答した。
- ・特定預金取崩収入に繰越金と同額を計上し使用することはできるかといった質問もあり、特定預金からどこまで使用できるか税理士に相談する。

《質疑応答》

問：全く繰越金を含まないというのは変ではないか。

答：5月20日に県の担当職員と公認会計士を交えた相談会があるので、そこで確認する。

2 その他

○「UIA2011 東京大会及び関連事業 紹介のお願いについて」事務局長より報告された。

- ・連合会より広報をお願いしたいとの依頼であるが、神奈川士会ではどのような役割分担でいくのか、ご検討いただきたい。

《質疑応答》

問：次期の総務企画委員会での対応ということでよろしいか。

答：その通りである。

問：総務企画委員会の事業計画内に含まれているか。

答：その通りである。予算付けもしてある。

問：UIA 東京大会は母体が多いので、問題ないと思われるが、日中韓建築士協議会の進み具合はどうか。会場は横浜となりそうであるが、段取りや通訳の準備等早めにつめていただきたい。

答：積極的に情報集めを行い、情報を提供したい。

問：開催はいつ頃を予定しているか。

答：11月8日から3～4日間である。

☆建築学科に留学生がいるような大学等に通訳を依頼してはどうかとの提案があった。

○今回は委嘱期間最後の委員会開催となるため、出席委員より挨拶があった。